

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	国際観光課	職	課長	氏名	北口 義一
評価者	組織	国際観光課	職	課長	氏名	北口 義一

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	海外誘客の促進	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (H37)	529,473 (H28)	606,419 (H29)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
					(年度)	(年度)	(年度)						
施策1	課題1	東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度の向上及び誘客の促進	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (H37)	529,473 (H28)	606,419 (H29)	1 ほっと石川観光推進ファンド事業資金貸付金	外国人観光客	20,500	20,500	B	継続
								2 海外誘客情報発信事業費	外国人観光客	82,400	83,642	A	拡大
	課題2	外国人受入環境の充実	外国人宿泊客数	人	1,000,000 (H37)	529,473 (H28)	606,419 (H29)	3 海外誘客受地整備事業費	外国人観光客	5,000	4,119	B	継続

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	専門員 橋本 康朝	
							者 電話番号	076 - 225 - 1124 内線 3969

1 目 的

平成28年3月に策定された「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟が実施する海外誘客促進事業の円滑な実施のために資金繰りに必要な資金の貸し付けを行う。

2 事業内容

東京オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた海外誘客

(1) 海外MICE誘致の推進
東京都との連携による相互の魅力を活かした視察旅行の受け入れ、共同パンフレットの増刷、旅行博への出展など

※MICE： Meeting(会議・研修)、Incentive(報奨旅行)、Conference(国際会議・学術会議)、Exhibition(展示会) の4つの頭文字を合わせた言葉

(2) 海外富裕層誘客の促進
ルレ・エ・シャトーが主催する商談会への出展、京都市など6自治体による連携組織へ参画しての、欧米旅行会社招へいや富裕層向け旅行見本市への出展、豪州富裕層向け旅行会社の招へい など

貸付先：(公社)石川県観光連盟
貸付額：20,500千円

施策・課題の状況						
施策	海外誘客の促進				評価	B
課題	東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度の向上及び誘客の促進					
指標	外国人宿泊者数				単位	人
目標値	現状値					
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	1,000,000	242,392	293,956	363,399	529,473	606,419
事業費						
	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算				30,000	20,500
	決算				39,000	20,500
一般財源	予算				0	0
	決算				0	0
事業費累計					39,000	59,500
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	海外誘客100万人はもとより、高い経済効果が期待できる取組として、平成28年度より欧米等に広いネットワークを持つ東京都や、先進的に富裕層誘客に取り組む京都市等と連携し、海外の有力な旅行会社等を招へいた。 また、世界の高級ホテルやレストランで組織される「ルレ・エ・シャトー」と連携し、同組織が主催する商談会への参加や海外富裕層旅行見本市への出展を通じ、ネットワークを構築するなど、今後の誘客の足掛かりを築くことにより、海外の本県の認知度の向上と情報発信の強化を図ることができた。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本事業は中長期的な視点での事業実施が必要であり、今後得られた富裕層を顧客として持つ組織や旅行会社などとのネットワークの構築を更に進めるとともに、引き続き本県の認知度の向上と情報発信の強化に努める。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客情報発信事業費	事業開始年度	H2	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016	成 職・氏名	専門員 橋本 康朝	者 電話番号	076 - 225 - 1124 内線 3969

1 目 的
海外からの誘客で最も重要な認知度向上を図るため、海外における旅行イベントへの出展、メディアへの露出、現地旅行会社への商品造成支援や観光セミナーの開催など、各種観光プロモーション活動を実施する。北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートの定着を図る。

2 事業内容
(1) 北陸新幹線を活用した新たなゴールデンルートの定着

- ① 北陸アーチパスを活用した情報発信
 - ・ 北陸新幹線沿線自治体との連携による国際旅行博への出展やメディア招へい(欧米豪、東南アジア、台湾、香港) など
- ② 昇龍道高速バスきっぷ等を活用した周遊観光の促進
 - ・ 昇龍道沿線各県と連携した共同プロモーションの実施

(2) 国や地域の特徴に応じた戦略的な海外誘客の推進

- ① 個人旅行者に対する情報発信の強化
 - ・ 世界最大手の旅行予約サイトやインターネット動画サイトを活用した観光PR
- ② 小松空港定期便を活用した誘客活動の展開
 - ・ 旅行商品造成のためのメディア招へい、広告掲載支援 など
- ③ ターゲットを絞った誘客の促進
 - ・ アフタースキー客の誘客(豪州)
 - ・ スポーツ・レジャーツアーの誘致(台湾、韓国)
 - ・ 教育旅行の誘致(台湾・中国)
 - ・ 体験型旅行商品の造成(シンガポールなど) など

施策・課題の状況						
施策	海外誘客の促進				評価	B
課題	東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその後を見据えた本県の認知度の向上及び誘客の促進					
指標	外国人宿泊者数				単位	人
目標値	現状値					
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	1,000,000	242,392	293,956	363,399	529,473	606,419
事業費						
	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	52,940	57,940	98,670	79,040	82,400
	決算	56,540	64,940	119,737	105,519	83,642
一般財源	予算	52,940	57,940	14,840	74,940	55,650
	決算	56,540	64,940	43,192	76,939	56,916
事業費累計		122,080	187,020	306,757	412,276	495,918
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	A	北陸新幹線開業前から、沿線自治体や交通事業者との連携を進め、広域周遊観光の推進に取り組んだほか、今後さらなる誘客の拡大が期待できる東南アジアや欧米豪を重点にそれぞれの国・地域の特性に応じた効果的な取り組みを行ってきた。 その結果、県内の外国人宿泊者数については、台湾は前年比4%増の162,831人、韓国は15%増の21,566人、中国は前比9%増の52,880人、香港は前年比7%増の58,942人、欧米豪は前年比20%増の166,025人、東南アジアは前年比7%増の50,192人となるなどいずれも過去最多の宿泊者数を記録した。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	拡大	人口減少時代を迎え、国内観光のパイが限られる中、交流人口の拡大を図るには、年々拡大する海外からの観光客の誘客に目を向けていくことが重要であり、今後も引き続き、北陸新幹線を活用した広域周遊観光の促進や、小松空港やのと里山空港などの充実したインフラを活用した誘客など国や近県、県内市町及び民間事業者とも連携を深めながら、重点市場からの誘客に取り組む。 加えてH30年度は、新たにラグビーワールドカップに向けて、試合観戦と本県観光を組み合わせた団体ツアーを造成する公式エージェントに対してツアーの販売支援を行うほか、小松空港の利用促進のために福井県と連携し、官民合同プロモーションを実施する。				

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	海外誘客受地整備事業費	事業開始年度	H2	事業終了予定年度		作 組 織	国際観光課	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016			成 職・氏名	専門員 橋本 康朝	
							者 電話番号	076 - 225 - 1124 内線 3969

1 目 的

外国人観光客が、快適な県内観光を楽しめるよう、観光事業者、有識者とも連携しながら、情報の収集・分析にあたり、県内事業者に対して受け入れに関する意識啓発並びに必要な支援を実施するほか、観光案内ガイドの人材育成を図ることにより、外国人旅行者の利便性及び満足度の向上を図る。

2 事業内容

外国人旅行者の利便性の向上

①観光事業者への意識啓発

- ・インバウンド研究会等の開催
- ・飲食店・商業施設等を対象としたセミナーの開催

②観光案内人材の育成

- ・県内の主な観光案内所を対象とした実地研修の実施

施策・課題の状況						
施策	海外誘客の促進				評価	B
課題	外国人受入環境の充実					
指標	外国人宿泊者数				単位	人
目標値	現状値					
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	1,000,000	242,392	293,956	363,399	529,473	606,419
事業費						
(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業費	予算	6,220	5,100	9,000	2,170	5,000
	決算	6,220	5,690	21,844	1,888	4,119
一般財源	予算	6,220	5,100	9,000	2,170	5,000
	決算	6,220	5,690	4,924	1,888	4,119
事業費累計	8,220	13,910	35,754	37,642	41,761	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	外国人がひとりでも安心して旅行が楽しめるような受入環境の向上に向けて、外国人観光客と直接やりとりをする観光案内所業務従事者向けの観光地での実地研修を実施したほか、多様化する外国人旅行者のニーズに対応するため、外国人旅行者の動態や、寄せられることが多い要望について、観光事業者向けのセミナー等を通じて情報共有し、受入環境の向上に努めた。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	年々増加する外国人観光客に快適に県内での観光を楽しんでもらえるよう、多様化する外国人のニーズを把握し、引き続き様々な課題に対応すべく、継続した外国人観光客の受入体制の整備を図る。 特に北陸新幹線金沢開業により、今後も個人旅行者の増加が見込まれることから、引き続き県内事業者に対する意識啓発や、快適な観光のための情報発信等、受入体制の充実に取り組む。				